

# 切磋琢磨

## —どうせなら、夢はでっかく語ろう—

皆さま、新年明けましておめでとうございます。私たちが翻弄した2011年が終わり、新しい年を迎えました。年が変わったといっても、私たちの抱えている問題が変わったわけではなく、むしろ未来に続く険しい道がより明確になってきたかもしれません。凄まじい破壊だったからこそ、新しい創造のために大なる「希望」を抱き、歩き出しましょう。そして破壊から学んだ私たちの「志」を後世に伝えていきましょう。

私の故郷尾浜須賀畑は消えてしまいましたが、その廃墟を眺めていると、私の中にはユニークなビジョンが次々浮かんでいきます。例えば、

- 1: 松川浦ウォーターフロント構想
  - 2: 相馬市エネルギー自給自足構想
  - 3: 野馬追の馬場建設と馬での町おこし構想
  - 4: 大洲海岸安全な堤防と保安林づくり構想
  - 5: 鶉ノ尾岬トラスト構想
  - 6: 岩子奥座敷構想
  - 7: 磯部花&フルーツランド構想
  - 8: 洋上防波塔建設構想
  - 9: 東北お遍路プロジェクト (昨年9月始動)
- ...

何かタイトルを見ただけでわくわくしませんか？

被災地にとって最も大切なものは「雇用」です。どうしたらその場を確保できるのか、必死に考えなければなりません。高速道路ができたなら相馬への訪問者は増えるかもしれませんが、滞在するお客さまはきっと減るでしょう。便利になるということは、施設の充実した仙台や松島にお客が流れるということでもあるのです。観光にとって「便利」というのは決していいことばかりではないのです。相馬に泊まってもらうためには、どうやって滞在時間を延ばすかが重要です。そのためにはいろんなメニューを用意しなければならない。町づくりにはビジョンが必要なのです。



## 新妻香織の 応援団になってください!

### 「にいつまかおりと相馬の未来を考える会」の会員募集

電話・メール・FAXなどで申込みの上、以下にお振込をお願いいたします。

年会費：1000円 (会報、報告会などに充てられます)

郵便局・ゆうちょ銀行

口座番号：18280-3632741 口座名：にいつまかおりと相馬の未来を考える会

## 議会を傍聴する 女性の会

「傍聴席から政治を変えよう！」  
皆さんが議会を傍聴し、相馬市や市議会議員の発言をチェックしてください。いい発言した方には「よかった！」と感動を伝えましょう。さらに感動が持続したら、みんなに話したり新聞に投稿しましょう。そうしてもっといい仕事をしてもらいましょう。普通の主婦にだって政治は変えられます。家事が済んだら議会に行こう！

あなたも議会を傍聴しませんか

初めて議会を傍聴しました。復興について議員の皆さんがどう考えているのか知りたかったんです。活発な意見が飛び交って、大変面白かったです。これまで市政については受身でしたが、これは自分たちの問題だと認識しました。これからも傍聴しすべての議員の意見を聞いてみたいです。ところで、放射能の問題はあなたも関心事なせいか、同じ質問が続きましたが、質問を会派でまとめることはできないのでしょうか。聞いている方は少し退屈でした。  
(齋藤紀子・川沼・71歳)

議会を傍聴して

12月定例会の傍聴者数 50名  
(男：31名、女：19名)

市議会だより

# 希望を植えよう

発行：にいつまかおりと相馬の未来を考える会

〒976-0022 福島県相馬市尾浜字南ノ入 241-3

TEL・FAX：0244-64-2042

E-mail：cxh05551@nifty.com

URL：http://kaori-niitsuma.com/



## TOPICS

### ■新妻香織 1189票で初当選！皆様のお力添えのたまものです。

11月20日に行われた相馬市議会議員選挙に新妻香織は初出馬。組織なし、経験なし、参謀なし、お金なし、時間なしと、「ないない尽くし」の戦いながら、好成績を収めさせていただいたのは、ひとえに皆様のご支援のおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました！

### ■臨時会と12月定例会開会

11月30日に臨時会が招集され、議長、副議長、各委員などが選挙により選出されました。新妻は産業建設常任委員と相馬地方広域水道企業団議会の議員になり、復興の現場に近いところに居場所を確保しました。定例会は12月5日より16日間の日程で開会されました。

### ■飯田哲也氏相馬市訪問

12月3日、環境エネルギー政策研究所代表の飯田哲也氏が「松川浦の未来を語るゼミナール」で講演。日本の自然エネルギーへの転換を熱く語りました。かつて原発の現場にいた氏の話は説得力があり、具体的な知恵に満ちていました。相馬のエネルギー自給計画にも協力の約束をしてくれました。

### ■東北お遍路プロジェクト、いよいよ本番

青森～福島津波被災地に呼び掛けて9月よりスタートした東北お遍路プロジェクト。四国88カ所のような札所を被災地に定め、観光客を呼び込み、津波の記憶を風化させないようにしようという取り組みです。12月18日に仙台で選考委員そろい踏み会を開催。2月にはキャラバンがスタートします。



# 議会報告

11月20日に選挙、翌日に当選証書を受け取ったかと思うと、30日には臨時会が招集、12月5日には16日間の会期で12月定例会が始まりました。目の回るような忙しさです。

30日の臨時会で佐藤満議長、小泉正人副議長が選出。その後、常任委員会(総務、文教厚生、産業建設)委員、一部組合(相馬地方広域市町村圏組合、相馬方部衛生組合、相馬地方広域水道企業団)議会議員、監査委員なども選挙により選出されました。

新妻は復興の仕事に携わりたかったので、「産業建設常任委員会」と「相馬地方広域水道企業団」議会の議員を希望、選出されました。

12月5日、定例会がいよいよ開会。一般質問、予算決算常任委員会などが行われ、20日採決、閉会しました。

なお「新生会」「未来相馬」「そうま維新」と3つの会派ができましたが、新妻はしばらく会派に属さずに活動することになります。



ご支援ありがとうございました!

## 新妻香織の質疑

12月定例会の一般質問は8、9日の両日。14人の議員が質問に立ち、新妻は9日、12番目に次のようなやり取りをしました。

1:放射能の除染計画と水対策について

① 相馬市の現段階での除染計画は。また進捗状況は。⇒計画を策定中。幼稚園、小・中学校の除染は完了。それ以外は剥いだ土の仮置き場がなく除染ができない。

② もっと細かなメッシュで放射能を測定すべきと考えるが。⇒これまで1km<sup>2</sup>メッシュで173カ所の測定をしたが、500m<sup>2</sup>メッシュでの調査を検討。

③ 農地の瓦礫除去に合わせ測定や除去を行うのは合理的と考えるが、いかがか。⇒復興組合に働きかけをし、了解を得られれば実施したい。

④ 玉野地区の飲料水の安全確保について伺う。⇒県が簡易水道を継続的に調査、希望した23世帯の井戸も調査した。沢の水を利用していることに関しては、衛生的にも問題がある。相馬市保管の水を配布し、ポット型浄水器の配布を検討する。

⑤ 松川浦に流れ込む放射性物質の量を軽減するため、ダム排水口、あるいは河川に何らかの対策を施す必要は。⇒県は対策を講じていないので強く要望していく。

⑥ 松川浦における放射能のモニタリングの頻度は。⇒県は5月1日から6回3カ所で取水し安全を確認している。底質の調査は行っていないので県に要請する。トリチウムは県が調査する予定。

⑦ 放射能で汚染された土の処理と保管をどう考えるか。⇒2カ所の仮置き場を選定したが断念。行政区ごとに合意形成を目指す。

⑧ 除染にかかる費用負担と保証についてどう考えるか。⇒東電と国が補償するものと考えているので、領収書の保管を助言している。

2:津波被災地の復旧・復興計画について

① 亘理・相馬線の復旧計画とタイムスケジュールは。地盤沈下をどう考慮するか。⇒札ノ沢～追川に護岸を整備、ポンプでの排水を県と協議中。3カ年で

整備していく予定。

② 避難路の計画を早く出すべきと考えるが。⇒避難場所や地形を検討し、高塚から東部公民館に抜ける道が最適と考え、整備していく。

③ 被災地の計画に住民の意見をどう反映させていくのか。⇒これまで市は説明会、住民意向調査、懇談会などを開催してきた。半壊以上の方は個別訪問し、可能な限り意見を取り入れるようにする。

広島原爆の300倍の放射能が放出され、我々は「未知の世界」を生活している。つまり我々には経験則がない。こんな時は予防に予防を重ねるに越したことはない。特に子供たちは。津波被災地や玉野地区で不安で絶望した人々に出会った。こんな人たちに寄り添ってられるような市政であってほしいと願っている。

相馬市議会では12月議会の一般質問を映像で配信しています。  
<http://www.city.soma.fukushima.jp/gikai/stream/index.html>

## 新妻香織の活動

この間の議会以外での新妻の活動を報告します。一見関係なさそうな活動が複層的に動いていくのが市民活動の醍醐味です。

■松川浦の未来を語るゼミナール:Vol.5「スマートメディア構想について知ろう」講師・飯田哲也氏/12月3日@相馬市生涯学習会館

■東北お遍路プロジェクト:NHKラジオ出演/12月9日、選考委員そりい踏み会/18日@仙台市中央市民センター

■はげつ子倶楽部:宇多川・小泉川河川水質調査/12月10日、蕪栗沼・伊豆沼がんの渡り観察会/17・18日@宮城

■相馬双葉漁協小型船組合リサーチ/12月14日、21日

■相馬基地訪問/12月14日

■廃棄物処分場に反対する相馬市

民の会総会参加/12月15日

■ラブチャイルド訪問/12月21日@はまなす館

■南相馬市除染対策室リサーチ/12月21日@南相馬市役所

■日本女子大学平和集会シンポジウム出演/12月24日@東京

■水道企業団訪問/12月27日

■和田観光苺組合訪問/12月27・28日

■熱血先生VOICE取材:原町第1中学校甲高学先生/12月14日、小高工業高校鈴木康隆教頭先生/22日⇒2月HPアップ



伊豆沼のがんの飛び立ち

## 新妻香織の今後の動き

### ○エチオピア訪問

1月18日～2月1日にフー太郎の森基金のプロジェクトサイト、エチオピアのラリベラを訪問。年2回の恒例行事で、今回は2012年の事業計画と予算の確定、緑化専門家の補充採用試験、ベガルタカップサッカートーナメント決勝戦などに参加します。

### ○市民対話集会開催

3月議会を見据え、市民のみなさまの日ごろ感じていることとお聞きする会を2月6～17日に開催します。順次市内各地を巡る予定ですが、ご希望があれば優先させていただきます(☎64-2042)。合わせて12月議会の報告も行いますので是非ご参加ください。

### ○「東北お遍路」キャラバン

福島～青森の海岸線に、震災巡礼八十八カ所を選定しようと昨年9月より活動をしています(代表:新妻香織)。まだ動き出していない市町村に呼び掛けをする第1次キャラバン隊を編成、2月18日八戸を皮切りに26日まで各市町村を巡ります。